

活動報告

団体名	プレーワーカーズ
活動名	被災地の子どものための遊びを通じた心のケア活動
活動期間	2019/10/12～2019/10/31
活動の成果	<p>●長野県長野市の活動</p> <p>子どもの心のケアとして避難所での緊急支援から始めたが、東日本大震災の経験も生かしながら、早くから地元での定着した活動を意識して行動をしてきたため、最終的に地元のNPOに事業譲渡することができた。活動場所を決めてからは、地域の子どもたちが常連となって遊びに来るだけでなく、神社の総代さん、氏子さん、子ども会育成会の会長、地域の保護者などの理解も深まり、地域に定着してきた。プレーカーを配置できたことで、その大田神社を起点として、長野市内の他の地域でも支援依頼があれば受けられる体制を作ることができた。</p> <p>●宮城県丸森町の活動</p> <p>これまで、丸森町を始め仙南地区では市民活動や子どものための取り組みはほとんどなく、プレーカーなど遊びに関する支援もなかった。しかし丸森小学校での活動をキッカケにして、町内だけでなく仙南地区全体での子どもの遊びネットワークも出来上がりこれからの恒久的な子どもの遊び場支援につながるきっかけとなった。近隣仮設住宅に住む子どもたちは、コロナの影響もあり、二重苦の状況に陥っており、外で発散する機会すら奪われていた。今回の事業では、たった数回、発散させることに過ぎない活動ではあったが、子どもたちの様子や保護者の反応を見るに、重要性は大きかったと考えている。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>みなさまのご寄付のおかげで、台風被害にあった子どもや保護者に寄り添った活動を続けることができました。本当にありがとうございます。ひとたび災害が起きると、大人たちは、その復旧・復興に向けて奔走します。その陰で、子どもたちはその想像を絶する体験や大きなストレスを抱えていくことになります。今回、台風19号の被災地域でも真っ先に子どもたちのケアが必要だと感じました。少しでも早く動き、少しでも長く継続した活動にするためには、活動資金の確保は欠かせません。改めてになりますがご寄付、ご支援、本当にありがとうございます。10月で支援活動期間は、区切りを迎えましたが、引き続き、被災地域との情報交換の場を持ちながら、寄り添い続けたいと考えております。</p>

(活動のようす)

